

モデルプログラム展開例 1

プログラム名

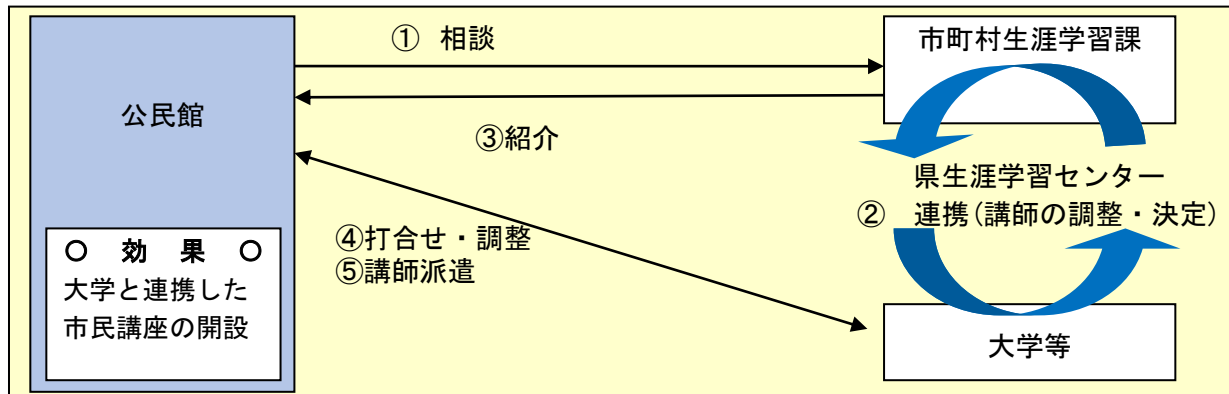
大学と連携した市民講座の開設

～公民館・コミュニティーセンターの活性化を高めるために～

1 ねらい

地域の人的資源の有効活用を進め、市民の学びと生き甲斐づくりに資する講座を開設することで、公民館活動や地域の活性化、及び地域の教育力の醸成につなげる。

2 講座開設に向けて



○市町村の公民館・コミュニティーセンターの役割

- ・開設したい講座を明確にする。
- ・生涯学習センターに相談する。
- 講座と講師の決定
- ・講師と相談を進めて、講座開設の決定をする。
- ・講座の運営を行う。
- 講座終了後の報告 → 当該生涯学習センター
- ・アンケート調査等をして、講座の検証と市民講座の方向性を明確化する。

○県生涯学習センターとしての関わり

- ・当該域の大学等の人材を発掘し、講座講師としてリスト化しておく。
- ・各市町村へ情報（講師リストと講座の特色等）の発信をする。
- ・各市町村の生涯学習課からの相談を受ける。
- 開設したい講座と講師とをマッチングする。 → 講師（講座）の決定
- ・終了記録等の蓄積と講師リストの更新をする。

3 期待される効果

- (1) 市民の学びと生き甲斐づくりに資する講座につながり、公民館活動や地域の活性化に結びつく。
- (2) 最新かつ専門的な内容の講座が開設される。
- (3) 講座のマンネリ化の防止と、講師選定作業の軽減につながる。

4 モデル事業（土浦市「土浦カレッジ」）の様子



六中学区公民館での講座「脳トレーニングとスロージョギング」